

令和3年度

# 事業報告書

社会福祉法人 恒徳会

## 令和3年度を振り返って

海老原 隆行

突如として、一変させられたコロナ禍だからこそ、法人の姿勢、つまり法人の発信するメッセージはきわめて重要である。時代遅れの法人にだけはなり下がってはいけない。

“発信の仕方”を本気で点検し、危機感を持ってやらないと、組織として前に進むことはありえない。何かをすることを決めるでなく、前に進む道を作ることを決め、地域の方々の気持ちの中に、恒徳会の存在意義が蓄積されていかなければならない。同時に利用者、家族、職員も、法人がコロナ社会にどのような価値を生み出すことができるかを、涼しげな顔で見ている。期待感をつのらせ法人の本質を見極めようと大注目していた年度であった。

実務的な同一労働・同一賃金への対応や、パワハラ防止法、育児・介護休業法など、経営に欠かせない制度動向に中々追いついていけない。抑えておくポイントや視点を深掘りしたいが、反省ばかりが目立ってしまった。制度動向は片手間ではできないレベルまできている。

また、コロナ禍という変化に伴い、“安全な職場で働きたい”という職員のニーズは高く、お金よりも環境を求めているのかもしれない。法人がどのようにフォローしてくれるかを見定めている以上、それが不十分で辞めたいのきっかけにならぬよう、職員とその家族の命を守るという熱意を持って、正しい形で、職場全体へ伝わる努力をしていきたい。

特に、課題としてあげられる点は、

- ① トップマネジメントと組織活性化の手法
- ② 組織改善・強化・基盤作り
- ③ 幹部人材の育成
- ④ 求められる労務管理の知識と実践
- ⑤ 事業継続計画（BCP）の体制整備
- ⑥ ICTシステム構築への取り組み
- ⑦ 多様な雇用スタイルの検討

などは、やや低調であったと思われる。

逆に、

- ① オンラインツールを利用した会議や研修参加
- ② ストレスマネジメントとメンタルヘルスケア
- ③ 感染症対策委員が進めるコロナ見直しのマニュアル管理

は、熱心にチャレンジし、努力できたと思われる。

ファールしてでも勝ちに行くときは、勝ちにこだわっていく場面は必要である。それくらいの気迫を持って、強い法人に変わるためのヒントを見つけ、発信し続けなければならない。

令和3年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、各拠点において、サービス利用に制限を掛けざるを得なく、収入の面では全体的に減収となりました。また4月から9月までは、掛かり増し経費について、報酬に上乘せがあり、10月から12月まではサービス継続支援事業補助金として一定の給付がされましたが、消耗品や衛生物品の経費は助成以上に上昇しているのが現状です。また、理事会や定時評議員会がその時の国や県の発令状況や発生情報により書面決議になるなど、多方面で影響が出ている状況です。一方では、年度末には4施設が歩調を合わせ、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づいた、障害福祉での「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」、高齢者施設での「介護職員処遇改善支援補助金」の申請及び給与規程の改正も整備でき、無事に運用されることと思います。

公認会計士による会計監査は年度途中から書面で実施し、エイデル研究所による研修はリモートで実施され、コロナ禍の中でも機能されたとは思いますが、やはり対面での監査および研修のほうがより充実したものになると感じた一年でした。

今後も障害分野3施設、介護保険分野1施設が情報を共有し、法人総務部会として機能していけるよう努力していきたいと思えます。

#### 会計月次検討会・経営勉強会

- ☆ 公認会計士事務所による会計監査は、年度後半は新型コロナウイルス感染症対策のため、書面監査となったが、電話やメール等を利用し適正に会計処理が行われた。
- ☆ 経営コンサルティング会社による、指導職研修がリモートで実施され、職員の質の向上に繋がった。

#### 介護・福祉施策の動向

- ☆ 令和4年度から義務化される、虐待防止及び身体拘束の禁止について、規程の見直しや各拠点での取り組みについて対応を行った。

#### 新型コロナウイルス感染症対策

- ☆ 筑西市による新型コロナウイルス感染症対策福祉施設支援等補助金申請及び報告を行った。
- ☆ 近隣地域での発生状況の情報収集を行い、抗原検査の徹底を行った。

#### 処遇改善加算の対応

- ☆ 処遇改善加算と特定処遇改善加算が一体化した報告書の作成を行った。
- ☆ 経営コンサルティング会社による中堅職員・指導職職員に対してリモートでの研修を実施し、職員の質の向上を図った。
- ☆ 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金（補助金）の申請にあたって、部会を開催し調整を行った。

●第1回部会

日時 5月13日(木)

場所 恒幸園

- 内容
- 1 令和2年度事業報告について
  - 2 処遇改善手当(B)、特定処遇改善手当(B)支給について
  - 3 社会福祉充実計画について

●第2回部会

日時 9月15日(木)

場所 恒幸園

- 内容
- 1 会計事務所報告について
  - 2 コロナ感染症事項の連絡体制について
  - 3 理事会について

●第3回部会

日時 2月16日(水)

場所 恒幸園

- 内容
- 1 運営規程の変更について
  - 2 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金(補助金)について

●第4回部会

日時 3月9日(水)

場所 恒幸園

- 内容
- 1 「しせつの損害補償」保険内容について
  - 2 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金(補助金)について

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 7月5日（月）

場所 恒幸園

内容 ① 中堅職員研修

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 7月28日（水）

場所 恒幸園

内容 ① 中堅職員研修

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 8月4日（水）

場所 恒幸園

内容 ① 中堅職員研修

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 10月12日（火）

場所 恒幸園

内容 ① 人事考課者研修

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 2月21日（月）

場所 恒幸園

内容 ① 指導職員研修

●人事考課研修（エイデル研究所）オンライン研修

日時 3月9日（水）

場所 恒幸園

内容 ① 指導職員研修



〔支援・相談員部会〕

酒井 浩樹

コロナ禍の影響で、法人部会として計画をしていた「地域貢献活動」及び「法人施設PR活動」が昨年に引き続き中止となってしまった。今後、どのような活動方法があるかを模索し実施につなげていかなければならないと考える。

部会においても年4回の開催予定であったが、感染拡大の影響で2回しか開催することが出来なかった。

その中で新型コロナウイルス感染症に対する情報の共有、生活相談員及びサービス管理責任者の役割や各施設での取り組み等を話し合い共通の認識の中で感染症対策に取り組んできた。今後も継続して各施設の対応を実施していくことが大切である。

● 第1回部会

日 時 令和3年5月20日（木）

場 所 恒幸園

内 容 \*新型コロナウイルス感染症  
・感染症対策と現状、今後の課題について  
・ワクチン接種後の事業所の動き方（行事関係、面会、外出等）  
・ご利用者のストレス軽減について  
\* 欠員及び新規入所受け入れ状況報告と  
今後の定員確保の課題について

● 第2回部会

日 時 令和3年9月2日（木）

場 所 恒幸園

内 容 \*新型コロナウイルス感染症対策として  
・面会・外出・行事  
・区分調査方法  
・入所・通所受け入れ条件  
\* 身元引受人の後継者問題について  
\* コロナ禍における3密を避ける介助方法

新型コロナは次々と変異し収束どころか、現在も多大な影響を及ぼし大きく変化した日常を今も脅かしています。私達福祉施設従事者は、必然的にコロナ対策を前提として支援を行ってきました。日常生活上の快適性を求めつつ、ゾーニングや換気の方法、感染症の侵入、拡大抑制に配慮しながら取り組みました。しかし、制限された生活の中では、精神的不安やストレス、身体機能の低下等、課題もあり試行錯誤している毎日です。

今年度も日頃から感染対策に取り組んでいる事で利用者、職員のコロナ感染者の発生を抑える事が出来ました。しかし、発熱者や濃厚接触者等による自宅待機の職員も増えコロナが身近に迫っています。ゾーニングや PPE の着脱の指導など日々の業務を理由に疎かにしてしまったのは反省点です。まだまだ出口の見えない状況であり、今後も情報交換しながらコロナ対策を見直し検討していきたいと思います。利用者の健康・安全・生命を守り、一日でも早く日常を取り戻せるよう日々奮闘したいと思います。

◎ 第1回部会

開催日 6月30日(水) 10:00~11:00

場 所 桃香園

内 容 ①本年度の部会目標及び活動予定  
②各施設の感染症予防対策の報告  
③その他情報交換

◎ 第2回部会

開催日 11月17日(水) 10:00~11:00

場 所 桃香園

内 容 ①各施設の感染症予防対策の報告  
②各施設のコロナ禍での日中活動報告  
③その他の情報交換

◎ 第3回部会

2月9日(水) 予定であったが感染症予防の為中止

内容予定 ①各施設の感染症予防対策の報告  
②本年度の反省、次年度目標及び取り組み内容  
③その他情報交換

〔看護師部会〕

松山 洋子

今年度、感染症対策、特に新型コロナウイルス感染症に対しての対策を重点的課題に置き、各施設の実施状況の情報交換を行い、施設の対策の参考とさせていただくことが出来ました。

又、今年度から、新型コロナワクチン接種が始まりましたが、ワクチン準備の方法・接種の手技に関して、各施設合同で、協和中央病院の御協力を得て勉強会を開催させていただき、無事接種を実施することが出来ました。

新型コロナ感染を出さずに来られたことは、協和中央病院を始め、各施設の協力、職員の対策意識の高さからと思います。今後も、感染症対策を始め、利用者様の日々の健康管理に努めて行きたいと思います。

- 第1回 令和3年5月26日 10:00～11:00 恒幸園
- ・職員・利用者の新型コロナワクチンの接種状況（1回目・2回目）

すみれ園	職員	42名	利用者	48名
堇授園	職員	19名	利用者	45名
桃香園	職員	53名	利用者	51名
恒幸園	職員	58名	利用者	54名
- 第2回 令和3年10月20日 10:00～11:00 恒幸園
- ・感染症対策、現状の取り組み  
インフルエンザ予防接種実施について  
新型コロナウイルス感染対応の指導について
- 第3回 令和4年2月9日
- ・本年度の反省  
感染症対策ケアの実践指導の必要性について
  - ・職員・利用者3回目の新型コロナワクチン接種状況

すみれ園	職員	43名	利用者	48名
堇授園	職員	19名	利用者	45名
桃香園	職員	53名	利用者	51名
恒幸園	職員	60名	利用者	53名

## 〔栄養士部会〕

渡辺 佳乃子

本年度の栄養士部会はコロナ感染予防の為、2回の定例会の実施と、1回の電話対応による部会の実施となった。勉強会の実施により法人全体が、食事サービスに必要な知識の向上、意識の向上ができた。

また、レシピなど情報交換もし、担当施設以外の情報を知ることにより、新しい発見があった。次年度も、各施設と連携を取り、食事サービスの意識向上、知識向上に励みたい。

### ●第1回部会

- 日時 7月5日(月) 13:30~14:30  
場所 董授園  
内容 1 情報交換  
・コロナウイルス感染症対策について  
・HACCP 勉強会  
・食材の意見交換  
2 献立交換及びその他意見交換

### ●第2回部会

- 日時 11月8日(月) 13:30~14:30  
場所 桃香園  
内容 1 情報交換  
・冷凍野菜のスチコン調理について  
・レシピの意見交換  
2 献立交換及びその他意見交換

### ●第3回部会

- 日時 1月17日(月)  
場所 コロナ対策の為、電話対応  
内容 1 令和3年度事業報告  
2 令和4年度事業計画  
3 情報交換

〔調理員部会〕

市村 典章

令和3年度の調理員部会はコロナ感染症予防の為、第1回部会しか開催することが出来ませんでした。各施設での調理方法や工夫している事などを学ばせて頂きました。

今後も利用者様に、安全・おいしい食事提供に努めたいと思います。

● 第1回部会

- 期日 令和3年6月24日(木)  
場所 恒幸園(会議室)  
内容 ・定例会議  
・食事メニューに適した調理方法について  
・その他情報交換

● 第2回部会

- 期日 令和3年10月5日(火)  
場所 桃香園(会議室)  
内容 ・定例会議  
・各施設の自慢メニューのプレゼン  
・その他情報交換

※コロナ感染症予防の為、中止

● 第3回部会

- 期日 令和4年2月8日(火)  
場所 董授園(食堂)  
内容 ・定例会議  
・令和3年度事情報告と反省  
・令和4年度事業計画案について  
・その他情報交換

※コロナ感染症予防の為、中止

## 令和3年度社会福祉法人「恒徳会」主な流れ

令和3年	4月 1日	開園記念日 辞令交付
	6月 2日	監事監査
	7日	令和3年度第1回恒徳会理事会 (書面決議) 評議員選任・解任委員会 (恒幸園：会議室)
	21日	令和3年度第1回恒徳会定時評議員会 (書面決議) 令和3年度第2回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
	10月18日	令和3年度第3回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
	12月13日	令和3年度第4回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
令和4年	3月28日	令和3年度第5回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)